

登別市消費生活センターからのお知らせ

消費生活センターは、登別市役所1階2番窓口の市民サービスグループ内にあります。消費者トラブルに関する市民の皆さまからの相談を専門の相談員がお聞きし、必要に応じて助言や業者と直接交渉して解決へ導きます。

相談は、平日の午前9時から午後5時30分まで受け付けており、電話・来所どちらも対応しています。

また、市役所まで来所することが困難な高齢者の方や障がいをお持ちの方については訪問相談も行っております。周りの目が気にならないように、プライバシーが守られる静かな相談室にて対応いたしますので、安心してご相談ください。



相談室

市役所職員を騙る 還付金詐欺にご注意を!!

～実際に相談があった消費生活相談事例の紹介～

市役所職員の介護保険料担当職員を名乗り、「介護保険料に還付金が生じているが、払い戻し可能な期限が本日までのため、急いで対応してほしい」「具体的な手続きについてはATMの前で電話で指示をする」といった内容の不審な電話が令和4年だけで3件もありました。



●市役所職員が直接市民に電話をかけて、お金が戻ることや金融機関のキャッシュカードの暗証番号を聞いたり、通帳等の提示やATMへ行って操作を求めることはありません!

●市役所職員が各家庭へ訪問する際は、必ず所属と氏名を名乗り身分証を携帯しています!

少しでも不審に思ったら
すぐに電話を切って
消費生活センターにご相談を!

相談先 登別市消費生活センター TEL: 85-3491

登別 消協だより

登別消費者協会
登別市片倉町6丁目9番地1
総合福祉センター「しんた21」内
TEL・FAX (0143) 85-8307

第45回登別消費生活展を開催しました

10月21日(金)～22日(土)の2日間、市民会館において「安全・安心な暮らしをもとめて」をテーマとして、消費生活展を開催しましたが、コロナ禍の中、来場者は延べ350名でした。

今回の催しでは、主催者としては特殊詐欺防止パネルや防災グッズの展示、SDGs内容の解説、写真による年間活動や減塩食の紹介、絵手紙の体験、古衣料の回収、食品ロスの削減を進めるフードドライブなどのほか、協賛団体としては、おもちゃの病院「中島」のおもちゃの修理、北海道電力ネットワーク室蘭支店の発電して写真撮影、室蘭ガスのエコなガス機器の展示、登別ガスの防災機材の展示、布の絵本ボランティアの会の小物の展示販売、更には、登別市消費生活センターの市内で発生した特殊詐欺の事例、登別衛生団体連合会のゴミクイズや小型家電の回収などがあり、来場者がじっくりと興味のあるブースに立ち寄って会話したり体験を楽しむ姿がありました。

また、会場入り口付近では、のぼりべつ酪農館の乳製品、わかさ屋菓子舗のわかさいも、ピアチーレのパンや木工品、フロンティア登別のパンなどの製品を品定めしながら買い物を楽しむ姿がありました。

今後の活動につなげるためのアンケートを実施しましたが、意見としては次のことがありました。

- 今後も生活展を続けてほしい
- 野菜や豆類などの販売をしてほしい
- 今回開催できて良かった
- いつも忘れかけていたことを思い出して勉強になりました
- 考える機会をつくって頂きました

2年ぶりに開催し無事終わることが出来たのも、会員や市役所担当部、協賛団体の多くの皆様方のご協力の賜物と感謝しているところであります。



SDGsの展示



消費生活展会場の全景



親子での発電写真



物産会の販売会場



消費生活展会場での展示

消費生活センターでの相談内容

- 話しを聞くだけで、お金がもらえるなどの誘いに注意
- 光回線のサービスの変更は、内容をよく理解してから
- 定期購入で通信販売の「初回」「お試し」は、契約条件に注意
- 不審メールで実在する組織を語るフィッシングメールに注意

フードドライブ事業で支援を!!

家庭での食品ロスを減らして、必要な人に繋ぐ、低コストで出来る「地域地消」の社会貢献

家庭で余っている食品を捨てないで持ち寄り、食品を必要としている地域のフードバンクなどの生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設などに寄付する活動を「フードドライブ」と呼びます。

当協会では、昨年、市民会館の1階ロビーで開催しました「ミニ展示会」で初めてフードドライブの取り組みを実施し、市民から寄付していただきました食品を市内のNPO法人「フードバンクゆめみ〜」を経由し食品を必要としている関係者に寄付をさせていただきました。

今回、市民会館2階中ホールで開催しました第45回登別消費生活展の会場でも引き続き市民に呼びかけをして多くの食品の寄付がありました。

大変有難く思っています。この取り組みは、日常的に行っておりますので、火曜日から金曜日(10:00~15:00)までに協会事務所「総合福祉センターしんた21」にご持参頂ければ嬉しく思います。



第45回消費生活展寄付の実績

スパゲッティ 7袋	塩ラーメン 1袋
乾麺(うどん) 11袋	トマトケチャップ 2瓶
とろろそば 9袋	シーチキン 9缶
たまごスープ 1袋	じゃがいも 3袋
みそラーメン 2袋	(賞味期限30日以上食品)

SDGs「持続可能な開発目標」の取り組み

人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標

持続可能な開発目標(SDGs)とは、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界の様々な問題を根本的に解決し、全ての人たちにとってより良い世界をつくるために設定された世界共通の17の目標で、発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

消費者協会での主な取り組み内容

- ◆3 「すべての人に健康と福祉を」 ・糖分と塩分摂取 ・牛乳・乳製品料理講習会
- ◆4 「質の高い教育をみんなに」 ・消費者出前講座 ・安全・安心セミナー
- ◆12 「つくる責任 つかう責任」 ・フードドライブの実施 ・古衣料の回収
・牛乳パックの再利用 ・古傘布からマイバッグ、マイエプロン作り
- ◆14 「海の豊かさを守ろう」 ・マイクロプラスチックごみの削減
- ◆15 「緑の豊かさを守ろう」 ・古封筒の再利用 ・古い印刷紙の回収

最近の特殊詐欺の発生状況

ご注意ください!!

9月末現在、道内では認知件数230件、被害総額933,733,689円の特殊詐欺が発生しています。

事例として、家族を名乗り「カバンをなくした」の手口で2人の女性が合わせて250万円、キャッシュカード詐欺で約1,000万円、トランプ2枚とキャッシュカードとすり替えた手口で250万円の被害が発生していることから、「安心・安全なまちづくり」のため、特殊詐欺・子どもや女性の犯罪防止のため、全国地域で運動が始まっています。



年金支給日の街頭啓発



定期総会の開催



登別青嶺高等学校での消費者教育



総合防災訓練に協賛



牛乳・乳製品料理講習会



商品試買量目調査の実施

消費者協会の活動

今、新型コロナウイルス感染の収束が不透明なことから、社会活動や経済活動が停滞気味であります。

このようなことから「安全で安心な社会」を実現するため、常に新しい情報を伝える活動を行っています。

- 消費者意識の啓発
- 食品や商品の安全確保と監視
- 地産地消の啓発
- 価格調査の徹底
- 消費生活相談の充実
- 悪質商法の根絶の取り組み
- 地球にやさしい省エネルギーの促進と再生品の利用など



くらしの安全・安心セミナー



フードドライブの実施



消費生活展の全景



消費生活展での地元産品販売